

城南中学校「夜間学級」12年間のあゆみ

～共同事業5年間の評価と検証を終えて～

城南中学校「夜間学級」運営委員会

事務局 林 静一路

戦後の混乱や不登校などの理由で、文字の読み書きができないことにより、日常生活に支障をきたし、就職や各種免許等の資格取得が困難な方に対して、義務教育卒業程度の学力を身に付けさせるための学習活動の支援を行う。

▽小倉南区・八幡西区で実施

▽21年度…事業の評価・検証

1. はじめに

上の文は、北九州市教委が平成18年に作成した「北九州市教育行政総合計画～いきいき学びプラン」〈生涯学習の推進〉の項に書かれている夜間学級運営支援事業に関するものです。2005年4月、この事業を発足させるに当たって「5年後に相互で事業の評価・検証をして、6年目以降どうするかを考える」という合意の上で始まりました。

初年度は、「夜間学級運営事業補助金」という形で、年間100万円が交付されました。その後、北橋新市長誕生の2007年度から、市全体としては歳出削減の中、補助金が150万円に増額されました。なお2009年度の補助金は、「夜間学級」の運営をより充実させるための時間講師(1日3時間)を200日確保できるだけの予算と、スタッフに支払う交通費(実費)を合わせて、250万円に増額されました。現在、教室では日本人15名・在日朝鮮人3名・新渡日6名(韓国から4名・中国から1名・ベトナムから1名)の「生徒」とスタッフとが、「違いを認め共に生きる」を合い言葉に日々学習しています。

2. 活動状況について

「毎日勉強がしたい」という人たちの願いに答えて、1998年に週1日の自主「夜間中学」として発足した「よみかき教室・城野」は、2005年4月から北九州市教委との共同事業で運営する城南中学校「夜間学級」として週5日の学習をするようになりました。(資料1)

初年度はのべ1500人の「生徒」が出席しました。その後、ヘルパーの資格が取れて介護の時間と重なって「教室」に来られなくなった人や、体調を崩して出席できなくなった人もいて次年度から少し減りましたが、「今日は調子がよいので来ました」と言いながら、みんな頑張っています。スタッフの参加は、トータルでは「生徒」より多くなっています。

1 時間目は課題学習(識字)の時間にしています。スタッフがマンツーマンで、「生徒」一人ひとりに課題解決のサポートをします。2 時間目は中学校の「教科学習」の授業に充てています。ただし、美術、保健体育、技術・家庭のなどは、2 時間とも授業に使うこともあります。(資料 2)

3. 時間講師の仕事内容

2009年度に配置された時間講師は主に下記のような仕事を行いました。

- | |
|---|
| (1) 教室管理
(2) 学習教材の準備
(3) 授業計画(時間割)の作成
(4) 学級通信の編集・印刷
(5) 城南中学校との施設利用に関する諸連絡
(6) 城野市民センター使用に関する手続き
(7) 教室外活動の企画・準備 |
|---|

上記(1)～(3)は前年度よりもスムーズにいくようになりましたが、(4)～(7)については昼間の時間帯にしなければならないことが多く、時間講師に定められた3時間(18時30分～21時30分)の中だけではこなせない状況が続いています。

4. 「生徒」個々人の活動

「字を書けだしたら、人前に行っても恥ずかしくないようになった。学力が身につくということは、すごく勇気を与えてもらえる」と話してくれた濱本和子さんの言葉に、勉強に対する思いとそれを実現できている喜びが詰まっていると感じます。ひらがなを書くことから始めた森永ハツ子さんと藤田ミツエさんは、それぞれヘルパーの資格を取って介護の仕事に就きました。(その結果教室に来られなくなりましたが…。)

チョンチヨンジヤ 鄭貞子・チョンヨンジヤ 鄭要子・細川勝芳・藤田ミツエの皆さんは、各種の研究大会で、それぞれの生き立ちや「夜間学級」での学びの体験を自分の言葉で発表しました。(資料 3-①)

また、2006年度から取り組みを始めた日本漢字能力検定の受検については、2006年度に3名、2007年度に2名、2008年度に6名が受検しました。昨年度は「生徒」8名とスタッフ2名が、城南中学校の生徒と同じ教室で受検しました。(資料 3-②)

なお、高校入試に失敗した中学生が、卒業後この「教室」で半年間学び、希望の高校へ合格した例もあります。昨年度も高校を中退した人たち3人が再度受験をするため4月から「教室」で勉強してきましたが、全員希望の高校(定時制)へ進学しました。

5. スタッフ

スタッフとしては、現職教員8名、退職教員10名、市民ボランティア14名、ゲストティーチャー若干名が登録しています。毎日参加する講師以外は、週3回、週2回、週1回、月1回、など参加形態はまちまちですが、日程を調整して1日に7～8人のスタッフが常時参加できる環境をつくっています。昨年度からスタッフに交通費(実費)を支給できるようになったことは、運営の面で大きな前進だと評価しています。

6. おわりに

以上、4項目にわたってこれまでの活動を振り返ってみましたが、「毎日勉強がしたい」と願っている人たちに対して、城南中学校「夜間学級」がこれまで果たしてきた役割は大きいと思います。日本国憲法第26条に「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」と明記されているように、義務教育をすべての人に保障するのは本来行政の責務と考えます。

特に、戦中・戦後の混乱の中で義務教育を受けることができなかつた人たちに対して、行政は「教育における戦後補償」としての施策をしなければならないと思います。現在、全国8都府県に35校の公立「夜間中学」があります。北九州市もすべての義務教育未修了者が、毎日学べる場を保障すべきです。北九州市独自の「夜間中学」が早急に設置されることを私たちは願っています。

昨年12月2日、12月定例会市議会を傍聴しました。「北九州市に夜間中学をつくる会」から吉田会長と私が、城南中学校「夜間学級」からは「生徒」4人とスタッフ1人が参加しました。長野敏彦議員(社民党)の「夜間学級」に関する質問に対して、柏木教育長が「徐々に成果が上がっているので、今後も引き続き運営団体と相談しながら、支援をぜひ継続したい」との答弁をしました。(資料4)

北九州市教委との共同事業による「夜間学級」は、5年後に双方で事業を「評価・検証」し、①事業を打ち切る ②事業を継続する ③公立「夜間中学」にする、のいずれかに決めるという合意の上で始まりました。昨年末までの話し合いで、②事業を継続するという点で意見の一致を見ました。したがって、教室の運営形態は今年度も今までと変わりません。

「北九州市に夜間中学をつくる会」は、北九州市教委に3つの要望を出しています。

- (1) 各「夜間学級」に講師2人を配置する。
- (2) 共同事業で進めていることを市民に周知させる「お知らせ」を作成する。
- (3) 「夜間学級」が活動している学校に看板を設置する。

以上3項目について、(2)と(3)については、4月末までに実行されました。

(2010年5月)

〈資料1〉 城南中学校「夜間学級」のあゆみ（2004年度までは「よみかき教室・城野」）

年 度	生徒	スタッフ	活 動 曜 日 ・ 活 動 場 所	関 連 す る で き ご と
1998	2	6	・毎週金曜・城野公民館（19時～21時）	・5月1日「自主夜間中」として発足
1999	11	15	・	・1時間目…識字・2時間目…授業
2000	12	16	・	・「つくる会」 ^{註1} 北九州市議会へ陳情 ・北九州市長へ署名提出（19267人） ・岩松さん吉田中へ「入学」（2月） ・岩松さん吉田中を「卒業」（3月）
2001	13	21	・	・岩松さん定時制高校へ入学（4月） ・韓国へ修学旅行（8月）※以後毎年 ・城野公民館文化祭に参加（11月） ・「求める会」 ^{註2} 北九州市議会へ陳情
2002	17	21	・毎週金曜…城野公民館（19時～21時） ・第2水曜…城南中学校（5月より） ・毎週火曜…城南中学校（03年1月より）	・城野公民館文化祭に参加（11月） ※ビデオ「アプロ」制作 ・北九州市議会へ署名提出（11102人） ・「専用教室」できあがる（03年1月）
2003	19	25	※週2回の学習開始（19時～21時） ・火曜…城南中学校 ・金曜…城野公民館	・城南中学校文化祭に参加（11月） ・城野公民館文化祭に参加（11月） ・北九州市教委との話し合い開始
2004	19	28	※週3回の学習開始（19時～21時） ・月・水曜…城南中学校 ・金曜…城野公民館（城野市民センター）	・「夜間学級」運営に関して、北九州市教委との話し合い（年間5回） ・城南中学校文化祭に参加（11月） ※ビデオ「アプロII」制作 ・城野公民館文化祭に参加（05年3月） ・「夜間学級」運営委員会の発足 ・岩松さん定時制高校を卒業（3月）
2005	23	40	※週5回の学習開始（19時～21時） ・学級名を城南中学校「夜間学級」に改称 ・月～木曜…城南中学校 ・金曜…城野市民センター	・市教委より補助金100万円 ・市教委との話し合い（年間3回） ・城南中学校文化祭に参加（11月） ・城野市民センター文化祭に参加（11月）
2006	25	35	※週5回の学習実施（19時～21時） ・月～木曜…城南中学校 ・金曜…城野市民センター	・市教委より補助金100万円 ・市教委との話し合い（年間3回） ・漢字能力検定3名受検（11月） ・城南中学校文化祭に参加（11月） ・城野市民センター文化祭に参加（11月） ・「つくる会」 北九州市議会へ陳情 ・北九州市議会へ署名提出（10465人）

註1「つくる会」…北九州市に夜間中学をつくる会

註2「求める会」…中学校教室の夜間利用を求める会

年 度	生徒	スタッフ	活 動 曜 日 ・ 活 動 場 所	関 連 す る で き ご と
2007	25	35	※週5回の学習実施(19時～21時) ・月～木曜…城南中学校 ・金曜…城野市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委より補助金150万円 ・市教委との話し合い(年間4回) ・北九州市長を表敬訪問(4月) ・漢字能力検定2名受検(11月) ・城南中学校文化祭に参加(11月) ・城野市民センター文化祭に参加(11月) ・北九州市長へ署名提出(10164人)
2008	25	35	※週5回の学習開始(19時～21時) ・月～木曜…城南中学校 ・金曜…城野市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委より補助金150万円 ・市教委との話し合い(年間3回) ・創立10周年を祝う集い(5月) ・漢字能力検定6名受検(11月) ・城南中学校文化祭に参加(11月) ・城野市民センター文化祭に参加(11月) ・北九州市長が教室を訪問(11月)
2009	25	35	※週5回の学習実施(19時～21時) ・月～木曜…城南中学校 ・金曜…城野市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委より補助金250万円 ・市教委との話し合い(年間7回) ・「夜間学級」紹介チラシ作成(5月) ・漢字能力検定8名受検(11月) ・城南中学校文化祭に参加(11月) ・城野市民センター文化祭に参加(11月) ・5年間の活動の「評価・検証」(12月)
2010	24	32	※週5回の学習実施(19時～21時) ・月～木曜…城南中学校 ・金曜…城野市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委より補助金250万円 ・「夜間学級」紹介チラシ改訂(4月) ・学習活動発表会(4月) ・創立12周年記念大作品展(4月) ・「夜間学級」の看板設置(4月)

※主な「教室」外活動

- ・ふれあい合宿(春・1泊)
- ・韓国への修学旅行(夏休み中)
- ・社会見学(秋・日帰り)
- ・全国夜間中学校研究大会参加
- ・多文化共生教育研究集会参加

〈資料2〉 2009年度 城南中学校「夜間学級」活動状況

①授業時間数

	日数	国語	書写	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	外国語	学活	総合	総時数
4月	17	2	1	2	3	1	3	2	2	2	1	1		20
5月	17	2	1	3	5		1	2	4		2			20
6月	22	2	1	4	3	3	1	2	4	2	3	2		27
7月	19	2	1	4	5	1	1		4	2	1	1		22
8月	7	1	1			1			2			2	2	9
9月	19	2	1	5	2	2	1	2	4		2	1		22
10月	21	1	1	1	3	1	5	2	4		2	4	1	25
11月	19	3	1	2	2	1	1	2	4	2	2	2	4	26
12月	17	3		3	2	1	1	2	4		2	1	2	21
1月	15	2	1	5	2			2	4		2			18
2月	19	2	1	3	3	1	4	2	4		2			22
3月	17	2		4	3	1		2	2		1	4		19
計	209	24	10	36	33	13	18	20	42	8	20	18	9	251

②主な校外活動

- 4月10日(金)……学級園の畑作り
- 4月25日(土)……北九州市に夜間中学をつくる会総会で活動報告
- 4月26日(日)……学級園の苗植え(スイカ・キュウリ・トマト・ナス・ピーマン)
- 5月9～10日……ふれあい合宿(竹田・阿蘇方面)
- 5月25日(月)……学級園の苗植え(サツマイモ)
- 6月19日(金)……城野市民センター人権講演会に参加
- 8月1～4日……修学旅行(釜山～慶州～済州島)
- 9月19日(土)……修学旅行参加報告学習会
- 11月2日(月)……城南中学校文化祭に参加
- 11月7～8日……城野市民センター文化祭に参加
- 11月14日(土)……日本漢字能力検定を8名受検(城南中学校で同校生徒と一緒に)
- 11月21日(土)……秋の遠足(関門フィールドワーク)
- 12月4～5日……第55回全国夜間中学校研究大会(神戸)に5名参加
- 2月20日(土)……多文化共生教育研究集会2010(福岡)に15名参加

③生徒・スタッフ出席状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生徒	80	124	153	124	50	132	184	157	134	131	160	143	1572
スタッフ	142	128	168	143	69	144	170	167	123	121	148	150	1673

〈資料3〉

「生徒」個別の活動状況

①体験発表など

- ・2006年2月18日…多文化共生教育研究集会(福岡市)で体験発表。(鄭貞子・鄭要子)
- ・2007年8月1日…北九州市人権教育研究大会で報告。(細川勝芳)
- ・2007年10月14日…福岡県人権・同和教育研究大会で報告。(藤田ミツエ)
- ・2007年12月8日…全国夜間中学校研究大会(広島市)で特別報告(藤田ミツエ)

②日本漢字能力検定受検者(太字は合格)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
70代女性	6級		7級	6級
70代男性	6級	5級	4級	3級
70代女性	7級		6級	6級
70代女性		10級	9級	8級
60代女性			8級	7級
30代女性			9級	
60代女性				8級
10代男性				準2級
60代女性				7級

北九州市教委

夜間学級への運営費補助

来年度も250万円支給へ

北九州市教委は2日、北九州市議会本会議で、市内でボランティアが運営する二つの夜間学級への運営費補助について「徐々に成果が上がってきた。運営団体と相談しながら、支援をぜひ継続したい」として、来年度も今年度と同じ各250万円を支出する考えを明らかにした。市教委は05年度に補助を始めた際「5年後に事業の評価・検証をする」とし、今年度が最終年度だった。

長野敏彦議員（ハートフル北九州）の質問に柏木修教育長が答えた。「いずれの授業も年間200日以上。生徒たちが漢字検定に合格したり、ホームヘルパーの資格を取ったりするなどの成果が出ており、運営費補助の成果は徐々に上がっている」と説明した。

市教委企画課による

と、小倉南区と八幡西区でボランティアが運営している夜間学級に1年度に150万円、09年度に250万円の補助金を支出している。

【佐藤敬一】

北九州 市議会だより



NO.188

◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会誌の「会報」や「インターネット中継」などがご覧いただけます。アドレスは<http://www.city.kitakyushu.jp/page/gkai/>です。

夜間学級への どうなるの？

市民ボランティアが主体となって運営する夜間学級は、市との共同事業が始まって5年が経過するが、5年間の総括と今後の事業継続に向けた取り組みについて尋ねる。

教育長 夜間学級は、市民ボランティアが主体の夜間学級運営

委員会が、穴生小学校と城南中学校の2カ所で運営し、高齢者を中心に50名を超える生徒が勉強に取り組んでいる。市としては、「いつでも・どこでも・誰でも」学ぶことができる生涯学習の一環として、運営団体に対して財政支援のほか、学校施設の使用や市政だよりによるPRなどの支援を行ってきた。

先日、運営団体から5年間の活動報告書が提出され、各種資格の取得や高校進学等の学習成果が報告された。また、運営費補助の増額により、学級運営が向上した等、一定の評価を得ている。

この補助の実施については、徐々に成果が上がってきていると考えており、今後も引き続き運営団体と相談しながら支援を継続したい。

夜間中学憲章

ここ北九州市には、あの忌まわしかった戦争や、経済・身体・差別などの事情で、義務教育を終えられなかった人々が大勢います。その人たちが、文字を知らなかったために受けた差別とたたかいながら、「学びたい」「字を覚えたい」と思って、穴生公民館・穴生中学校〈青春学校〉と、城野公民館・城南中学校〈よみかき教室・城野〉で学習を続けてきました。

私たち北九州市民は、「学べなかった人」たちの「学習権」「教育権」を保障するとともに、学習意欲を見い出せないでいる人たちの、新たな学びの場をつくります。

私たち北九州市民は、北九州市の地から教育の原点を問いかけながら、理想的な「学びの場」「教育の場」を広めたいと願い、この憲章をつくります。

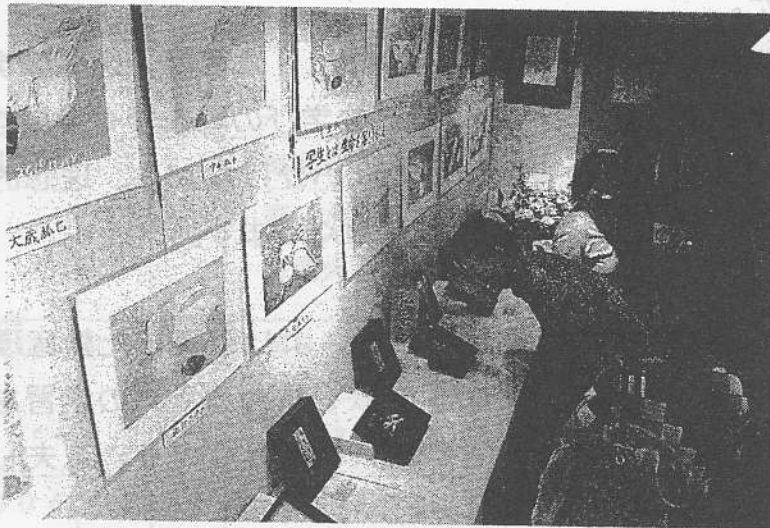
1. 「青春学校」「よみかき教室・城野」の教育方針の下に、より充実した教育環境をつくり出します。夜間中学では、生徒が「生きる力」を高めるための学習をします。そのために、学習内容は生徒の生き方や思いを大切にしながら、工夫していきます。
2. 運営は、「自主・自由・創造」の方針の下で「運営委員会」によって行います。
3. 入学資格は、15歳以上の義務教育未修了者とし、「学びたい」という意欲のある人は、国籍・年齢を問わず、いつでも、誰でも入学できます。
4. 3年間で卒業できます。ただし、本人の希望によって9年間は延長できます。
5. 費用はすべて公費負担とします。ただし、特別の場合は「運営委員会」にはかり実施します。

私たち北九州市民は、夜間中学の生徒の多くが、戦争・貧困・障害・差別の中から生まれてきたことを深く反省し自覚しながら、平和で充実した義務教育が全うされ、夜間中学が必要でなくなる日が一日も早く来ることを願っています。

(2003年4月26日・北九州市に夜間中学をつくる会総会にて承認)

「夜間学級」の作品展

小倉 人生反映した150点並ぶ



生徒やスタッフの個性あふれる作品が並ぶ作品展

北九州市立城南中学校(小倉南区)の教室を使い、ボランティアが自主運営している「夜間学級」の生徒らの作品展が小倉北区紺屋町の喫茶店「エミール」で開かれている。絵画や書、折り本、か

るなど約150点を展示。それぞれが生きてきた人生を反映した作品からは学ぶ喜びと意欲が感じられる。

城南中の自主夜間学級は98年に週1日の「よみかき教室・城野」として城野公民館で始

まった。02年から城南中の教室が使えるようになり、05年から週5日制となって夜間学級と改称。元教員などスタッフがボランティアで学習を支え、10〜70代の約20人が学ぶ。

作品展は創立12周年を記念したもので、ここ3年の美術の授業で制作した作品を展示。学級の活動を紹介する文集や写真なども置かれている。

「私の宝もの」というテーマでかまぼこ板に絵を描いた作品では「笑顔」「犬」「日本国憲法」などの「宝もの」が並ぶ。小さな折り本には、「まだまだかんじもよくかけないですけど、みなさんのちからをかりていっしょうけんめいがんばります」「学

級との出会いは私へのプレゼント」など学級への思いが記されている。

美術の授業を指導した元中学校教諭の安高純代さん(68)は「生徒さんたちは熱心で、集中力がすごい。これまでの人生が表現されている」と語る。ある生徒は「自分たちの作品を見て感動した。何でもないよう絵と思っていたが、正規な場所に飾ると見栄えがし、『え、本当にこれが自分たちの作品』と思った」と作品展を見た感想をつづっている。

5月1日まで。午前11時〜午後6時(最終日は午後3時まで)。問い合わせは事務局の林静一路さん(080・3946・1895)。

【佐藤敬一】